

手と手と手

岡山発 国際貢献

おりだ。が、国内での地域貢献にも、実は余念がない。それは、国際貢献大学校にとどまらず、医療や保健の面でも手厚く行っている。

その拠点が、大学校とはやや離れた場所にあつて、緑濃い山々のふもとに、蔵を思わせる白壁の建物が建っている。〇三年九月にオープンした国際貢献大学校メディカルクリニック。周辺地域唯一で待望の母子医療機関だ。施設は、要望元の旧哲多町が建設した。

旧町内には産婦人科がなく、自治体の境を超えて通院し、出産しなければならなかった。小児科医もおらず、産んだ後の心配も尽きない。当然だが、実家に里帰りして、家族の下で出産ということも極めて少なかった。新しい施設内には、地域の

喜びを象徴するように赤ちやんを囲む若い夫婦の笑顔の写真が壁一面に張られている。案内してくれた国際

貢献大学校の的野秀利校管 管理者三氏は、施設をこう 喜ぶを象徴するように赤ちやんを囲む若い夫婦の笑顔の写真が壁一面に張られている。案内してくれた国際

貢献大学校の的野秀利校管 管理者三氏は、施設をこう 喜ぶを象徴するように赤ちやんを囲む若い夫婦の笑顔の写真が壁一面に張られている。案内してくれた国際

喜ぶを象徴するように赤ちやんを囲む若い夫婦の笑顔の写真が壁一面に張られている。案内してくれた国際



助産師から指導を受ける母子。地元で産める安心感があるという＝国際貢献大学校メディカルクリニック

「AMD Aは紛争地や自然災害の被災地の人たちは助けけるが、地元は助けてくれないのか」

「AMD Aは紛争地や自然災害の被災地の人たちは助けけるが、地元は助けてくれないのか」

大きな課題となった。「国内のこともやってきて当たり前」と周りの人には思われていたが、スタッフは

大きな課題となった。「国内のこともやってきて当たり前」と周りの人には思われていたが、スタッフは

「国際的な認知度アップを優先すべき」と考えていた。意識のずれ。「それが変わったのが一九九五年一月の阪神大震災の救援活動だった」と的野は言う。

「国際的な認知度アップを優先すべき」と考えていた。意識のずれ。「それが変わったのが一九九五年一月の阪神大震災の救援活動だった」と的野は言う。

AMD Aの名を一躍知らしめた懸命な活動の結果が、国内で何かあったときに役立つのは当たり前という意識となつてスタッフや医師団に根付いた。「国境を超えて活動することと同

AMD Aの名を一躍知らしめた懸命な活動の結果が、国内で何かあったときに役立つのは当たり前という意識となつてスタッフや医師団に根付いた。「国境を超えて活動することと同

「海外で支援する地域に模範を示す施設が、国内に必要な」と的野。その際、取られたのは国際貢献現場での手法だ。被災地支援では、地元自治体と手を組んで活動する。新見市での医療・介護の提供も同様だ。

「海外で支援する地域に模範を示す施設が、国内に必要な」と的野。その際、取られたのは国際貢献現場での手法だ。被災地支援では、地元自治体と手を組んで活動する。新見市での医療・介護の提供も同様だ。

そして、もう一つ結びつのが地元の人々。「ローカルイニシアチブ」と呼ぶ。「現地の問題には現地の人が一番いい答えを持っている」。海外現場で学んだ哲学だ。岡山市の本部から現地へ来たのは

そして、もう一つ結びつのが地元の人々。「ローカルイニシアチブ」と呼ぶ。「現地の問題には現地の人が一番いい答えを持っている」。海外現場で学んだ哲学だ。岡山市の本部から現地へ来たのは

的野を含めて五人のみ。地域主導の精神は、新見市でも生かされている。(敬称略)

的野を含めて五人のみ。地域主導の精神は、新見市でも生かされている。(敬称略)

国内貢献

医療や保健

災害時の緊急医療救援など海外での華々しい活動ぶりは、連載第一部で見てきたと

海外ノウハウを地域へ

現場手法

ご意見をお寄せください。〒700-8734、山陽新開「国際貢献取材班」。ファクス(086-245-5296)、メール(kokusai@sanyo.oni.co.jp)。